

【四月の言葉（平成三十年）】

人間関係が希薄だということとは

相手のことよりも

自分を優先してしまっているためでは
ないか

いまの時代は映像を見てものごとを理解しようとする傾向がありますが、その後ろにあるもの、目に見えないものを想像する力が弱くなってきているのではないかという気がします。表面的なものしか見えなくなると、相手の気持ちに寄り添うことも難しくなります。

人間関係が希薄になり、結局、相手のことよりも自分のことが優先されてしまう。親子の間でさえ、そういうことが起きているのではないのでしょうか。

意識するしないにかかわらず、人間も自然もすべてのものごとは本来、互いにかかわりあって存在しているのです。そのようにつながり合っていることの素晴らしさを忘れていってしまうのは、残念なことです。この世界に広がるかわわりと、その大切さに気づいていきたいものです。